

## 就労部会の活動報告（令和4年度）

### <第6回 就労部会>

【日時】10月6日（木）15時～

【場所】南部公民館

【内容】

1. ミニ研修 『社労士のしゃべり場 in 就労部会』
2. 班活動
3. インフォメーション・情報共有



【報告】

ミニ研修では、高森社会保険労務士事務所の高森祐樹様を講師にお招きし、「社労士のしゃべり場 in 就労部会」と題して社会保険労務士の仕事や障がいのある方の就労に関する労働法規に関する諸問題についてお話しいただきました。

高森様は障がいのある方の就労支援がしくて社会保険労務士を志されたとのことで、難しくなりがちな法制度上の問題を分かりやすく説明してくださいました。

### <第7回 就労部会>

【日時】11月10日（木）15時～

【場所】南部公民館

【内容】

1. ミニ研修 『防災について』
2. 運営委員会報告
3. 班活動
4. インフォメーション・情報共有



【報告】

今回のミニ研修のテーマは「防災について」でした。

災害の警戒レベルや福祉避難所についてご説明いただき、改めて、日ごろから防災について意識することの大切さを感じました。

## <第8回 就労部会>

【日時】12月1日（木）15時～

【場所】南部公民館

【内容】

1. ミニ研修 『自立とは何か』
2. 運営委員会報告
3. 班活動
4. インフォメーション・情報共有

【報告】

今回のミニ研修では、当事者対話班によるワークショップ「自立とは何か」が行われました。一人ひとり画用紙に「自立とは何か」「自分の自立度は何%か」を書き、各班での共有及び発表を行いました。

自立とは・・・「いろいろな人の手や力を借りること」「自分の決めたことに責任をもつこと」「失敗から立ち直ること」「そもそも自立は必要なのか」「自立はみんな困難である」など、多様な意見が出ました。

支援者の方からは、利用者にとっての「自立」を考えることはあっても、自分自身の「自立」について考える機会がなく、今回とても考えさせられたとのご感想をいただきました。また、他の人の意見を聴く中で、自分の意見や考え方が変わった方もいらっしゃったようです。

今回の内容は、今年度中に当事者対話班が制作する「ふらっと新聞」の特集に一部掲載予定となっています。発行をお楽しみに♪

参加して下さった皆さんありがとうございました！



## <第9回 就労部会>

【日時】1月12日（木）15時～

【場所】南部公民館

【内容】

1. ミニ研修 『高次脳機能障害への対応』
2. 運営委員会報告
3. 班活動
4. インフォメーション・情報共有



## 【報告】

今回のミニ研修を担当させていただいた「ワークイノベーション班」です。

この班では、障害福祉サービス事業所を中心に、利用者への支援や運営についての事例検討を通し、より良い就労支援について話し合いを重ねています。これまでの事例検討の中で、高次脳機能障害に関する学びを深めることの必要性を感じ、今回、熊本県作業療法士会の松藤氏を講師にお招きし、『高次脳機能障害への対応』というテーマで、障がい特性やその特性に応じた支援方法についてご講話いただきました。

松藤氏が高次脳機能障害の当事者の方々と一緒につくられた日めくりカレンダーの中の「病気になったのはイヤだけど 今の自分がイヤなわけではない」というメッセージがとても胸に響きました。

この班では、これからも、当事者の方にとって、「この福祉サービス事業所を利用してよかった・この支援者に出会ってうれしい」と思っただけのように、障がいや支援について学び続け、仲間とともに切磋琢磨しながらがんばっていきたいと思います！